JDreamIII新機能紹介セミナー2018

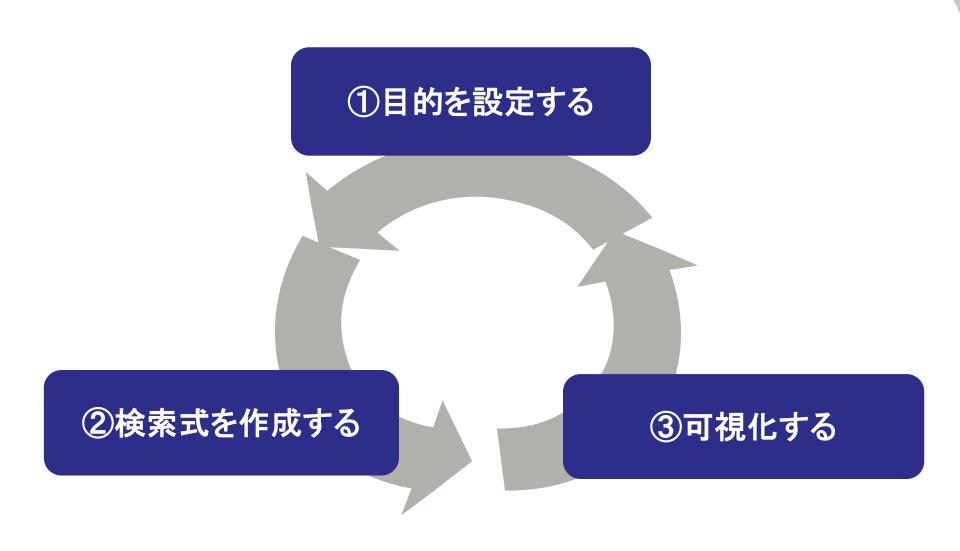


可視化機能活用事例

2018年5月

可視化の流れ





「①可視化の目的を設定する」



■可視化の主な目的

- •技術動向確認
- ·競合比較
- ・自社のポジショニング
- ・課題解決のキーマン探索
- ・自社製品の特性を活かす新領域探索
- ・シーズ発掘 など

目的はできるだけ明確化されることをお勧めしますが、ある程度決まっていれば、可視化から「気づき」を得ることもできます。

「②検索式を作成する」



■学術文献であることを意識した検索式を作成

基礎的研究も多いため、思いつくキーワードだけでは必要な文献が 漏れる可能性があります。

テーマに該当するシソーラス用語や同義語に加え、テーマの要素となる技術用語や素材名など組み合わせることをお勧めします。

■制限値に注意

- ・可視化可能な件数は5,000件です。(2018年5月現在)
- ・発行年は20年分を可視化するため、連続した20年以内の集合 をお勧めします。
 - 例)1991年-2010年、1998年-2017年

「③可視化する(可視化のポイント)」



■予測を立てて可視化する

予測と異なる部分に新たな「気づき」が見つかります。

■全体を俯瞰する

- ・ノイズを確認する。
- ・「あると思っていたのに無いもの」「極端な件数」などに注意します。
 - →ノイズや情報源の影響を確認、検索式の見直しなど
- 増えているものだけでなく、減っているものも確認する。

■新たな目的を設定する・目的を掘り下げる

予測と異なる部分や新たに気づいた点から、目的を掘り下げていき ます。

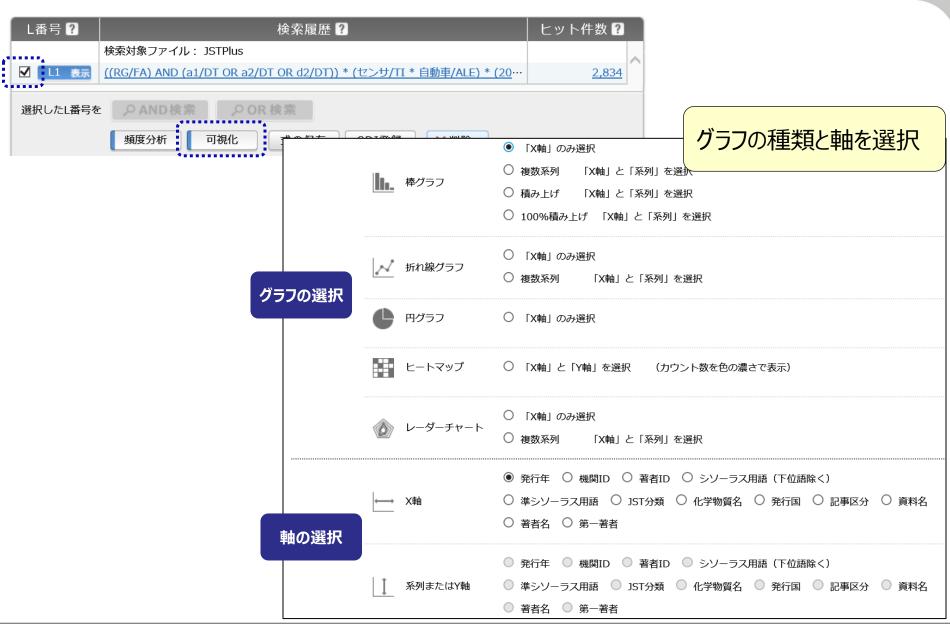
可視化例「自動車のセンサに関する技術動向」



JSTPlus+JMEDPlus 変更 ▼ 検索対象ファイル情報	
((RG/FA) AND (a1/DT OR a2/DT OR d2/DT)) * (センサ/TI * 自動車/ALE) * (2000-2017/PY)	
JSTシソーラスブラウザ 参照 参照	
フィールド選択入力 ((*)付フィールドは完全一致検索です。語間のスペースはAND検索になります。)	
選択項目和文標題▼ センサ	
AND V キーワード + 英文標題 + 英文抄録 V 自動車	
AND V キーワード + 英文標題 + 英文抄録 V	
▶ 著者名(*) 🕝 → 発行年 2000 ~ 2017	
「言語」「記事区分」などで絞込む ▲ 設定済 ※ 絞込みクリア 【可視化例の検索式】	
検索範囲 ☑ 未索引を除く □ 抄録付き文献の □ 可視化の上限値5,000件以内に収まる式	
・グイトル中に「ゼンザ」	, ∡ ! → ,
・タイトル、投資、プラープス、インタープスの開始中に一日	動甲
発行年 ○ From: □ ✓ □ To: □ ✓ □ ・発行年 2000-2017年 (連続する20年以内) ○ 品新3年 ○ 品新5年 ○ 品新10年 ・ 「未索引を除く」 (可視化は索引項目が多いた	W)
	_
言語 □ ロシア語 □ オランダ語 □ スペイン語 <mark>・ 「 P件 i元, レ L ユー 」 で Pホ </mark>	
☑ 原著論文(a1) ☑ 短報(a2) □ 文献レビュー(b1)	
記事区分	
□ 会議録(C)を除く □ 会議録記事(d2)を除く □ 会議録記事(d2)を持ちません □ 会員 □ 会	
● 表記ゆれ設定) Powered By Accela®	

可視化画面へ





集合の全体像を把握する

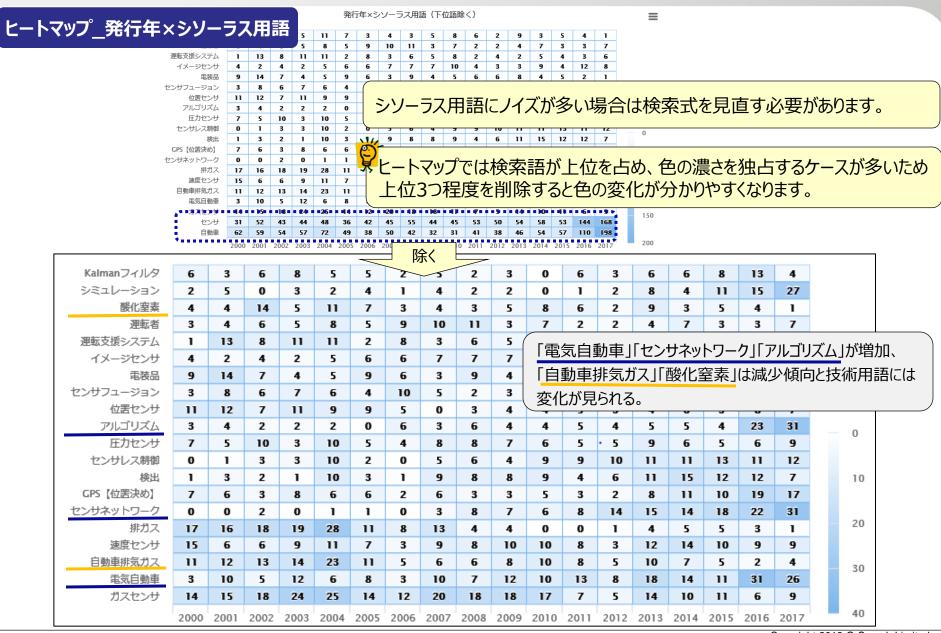




- 注)2016年8月以降、IEEEを中心に海外文献の収録が大幅に増えています。 テーマや検索式によっては2016年以降、件数が大幅に増えるケースがあります。
- ・該当件数が0件になる発行年は表示されません。(改修予定)

集合の全体像を把握する





最近注目の技術用語を見つける



Kalmanフィルタ	6	3	6	8	5	5	2	5	2	3	0	6	3	6	6	8	13	4				
シミュレーション	2	5	0	3	2	4	1	4	2	2	0	1	2	8	4	11	15	27				
酸化窒素	4	4	14	5	- 11	7	3	4	3	5	8	6	2	9	3	5	4	1				
運転者		→	- /- -	+ 		-1-4+	יביטי	+\	1	3	7	2	2	4	7	3	3	7				
運転支援システム		光 们	丁牛	7 1	近5年	しが	ぐり込	ਪ		5	8	2	4	2	5	4	3	6				
イメージセンサ										7	10	4	3	3	9	4	12	8				
電装品 センサフュージョン	((R0	3/FA) AN	ID (a	a1/DT	OR	a2/D	OT OF	R d2/	DT))	* (センサ	/TI *	* 自動	カ車/₽	ALE)	* (20	013-	2017	7/PY)	1,0921	#
位置センサ	11	12	7	- 11	9	9	5	0	3	4	4		3	4	6	3	8	7				
アルゴリズム	3	4	2	2	2	0	6	3	6	4	4		4	5	5	4	23	31		0		
圧力センサ			. <u> </u> °	56/	- /	~ ~ 1		• m==	8	7	6		3	9	6	5	6	9		0		
センサレス制御	L -	LA	ソノ_	_光化] 年×	シソ	ーフノ	(用語	6	4	Q		10	11	-11	13	11	12				
検出		音流	皮セン	サ		0				2				8			4	ı			8	
GPS【位置決め】	. :	スマー	トフォ	>		3				3				5			7	7			8	
センサネットワーク	ハイ	ブリッ	ド自動	車		3				7				4			5	,			8	
排ガス		位記	置セン	y T		4				6				3			8	3			7	
速度センサ			カメ	5		0				6				0			1	3			14	
自動車排気ガス		レー	チレー	ダ		2				3				2			1	1			15	
電気自動車 ガスセンサ		イメー	ジセン	b		3				9				4			1	2			8	
カスピンジ	Ka	alman]	フィル	9		6				6				8			1	3			4	
		1	加速度	it -		4				4				7			7	,			15	
		[自動運	氫		2				2				2			9)			22	
		ITS	【交通】			8				7				8			5	,			10	
			ベスト	性		4				5				1			1	3			17	
		Ŧ:	デリング	グ		9				1				3			1	2			15	
		- 1	立置決	ø .		5				9				4			1	0			13	
			道	路		1				2				3			1	3			24	
			MEN	1S		5				10				8			6	,			14	
	セン	サフュ-	ージョ)	>																		
	GF	S【位i	置決め)			近	路」		バスト	性」	レー	ザレ-	-ダ」「	自動	運動	<u> </u>	ノーサ	ドレー!	ダ」「ナ	<u>メラ」</u> た	どが増加	םכ
(※ランキングか			ゴリズ			×	201	6年以	以降0)海夕	∤誌埠	当九10)影響	響も老	慮す	⁻ る。						
一部用語を入	れ 電気自動車				17								JI					LU				
替えています。					2013			2	2014			2	015			20	16			2017		

グラフから気になる集合に絞り込む



音波センサ	0	2	8	4	8
スマートフォン	3	3	5	7	8
ハイブリッド自動車	3	7	4	5	8
位置センサ	4	6	3	8	7
カメラ	0	6	0	13	14
レーザレーダ	2	3	2		15
イメージセンサ	3	9	4	12	8
Kalmanフィルタ	6	6	8	13	4
加速度計	4	4	7	7	15
自動運転	2	2	2	9	22
ITS【交通】	8	7	8	5	10
ロバスト性	4	5	1	13	17
モデリング	9	1	3	12	15
位置決め	5	9	4	10	13
道路	1	2	3	13	24
MEMS	5	10	8	6	14
センサフュージョン	3	13	3	15	14
GPS【位置決め】	8	11	10	19	17
アルゴリズム	5	5	4	23	31
電気自動車	18	14	11	31	26
	2013	2014	2015	2016	2017

分析処理結果から再検索の条件をなかトする	▲ 閉じる
分析処理結果(グラフ)から選んだ範囲を、検索フィールドに検索条件としてセットします。	
No. of the Control of	
"2017"/PY "レーザレーダ"/CW	
語間のスペースを ● AND ○ OR とする ☑ 先頭に「L1 AND」をつける	

検索条件セット く クリア	

- ・グラフ上で目的の件数をクリックすると可視化画面の最下部に反映します。折りたたまれているので開いてください。(改修予定)
- ・反映した集合は検索式に変換できます。ただし2軸のグラフから複数選択すると目的の式に反映できないため注意が必要です。(改修予定)

グラフから気になる集合の抄録を確認





新たな可視化の目的を設定





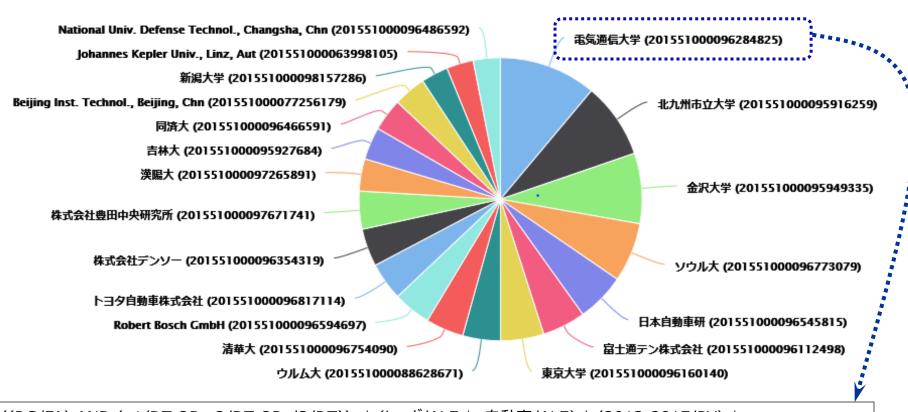
特定の研究機関に絞り込む



((RG/FA) AND (a1/DT OR a2/DT OR d2/DT)) * (レーダ/ALE * 自動車/ALE) * (2013-2017/PY) 862件

円グラフ_機関ID

機関ID



((RG/FA) AND (a1/DT OR a2/DT OR d2/DT)) * (レーダ/ALE * 自動車/ALE) * (2013-2017/PY) * ("201551000096284825"/CSID) 18件

特定研究機関の特徴的なキーワードを調べる



「電気通信大学」の「自動車・レーダ」に関する「直近5年」の文献18件

٤	:ートマップ_シソ	ーラフ	ス用語	·李	シソー	・ラスド	用語	ス用記	吾(下	位語隊	È<):	道 準 基	シソー	ーラスド	用語に	は統制	Jされ ^つ	ていな	いため)
	定量評価	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	者	百干	ーワー	トとし	(有月	刊じり	0		
	変調方式	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高信頼性	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	干渉波	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	性能改善	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	自動車用レーダ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
Lefter	省電力化	- 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
蠝	車載ミリ波レーダ	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ス用	自動車レーダ	2		1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0
IZ IZ	位相符号化	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
יווי	目標追尾	2	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	距離分解能	0			1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	パルスレーダ	- 1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
準ツン・	車両	1			0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0
<i>4</i> 81	速度推定	3	2		1	1	1	0	0	3	1	1	1	0	0	0	2	. 1	0	0
	車載レーダ	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	相補位相符号	1	4	1	4	3	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	2	0
	ミリ波レーダ	2	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1
目	動車用ミリ波レーダ	2	4	1	4	3	0	1	2	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	0
	多周波	3	7	2	5	4	0	1	0	2	2	2	1	1	0	0	1	2	2	0
	THE VA REST STATE OF THE PARTY STATE OF THE PARTY STATE OF THE STATE OF THE PARTY STATE OF THE PARTY OF THE P																			
	技術語とで		連ワ-	ードを』	見るこ	ح				ツー			79	<i>y</i>						

ができます。

研究者を探す



「電気通信大学」の「自動車・レーダ」に関する「直近5年」の文献18件

ヒートマップ。シソーラス用語×著者ID

横川貴洋 (201550000131849918) 1	0	0 1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0 0				
角田智広 (201750000350369349) 1	1	1 0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0				
坂本禎治郎 (201750000364151893) 1	0	1 0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0 1				
高橋陸 (201550000176893020) 1	0	0 1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0 0				
渡邉俊人 (201201100332178642)	0	1	0 0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1 0				
和田光司 (200901100353321903) 1	1	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0 0				
太田敏行 (20175000036385306)	14		. _ °			, m=	æ / *	/		4. Jm		0	0	0	0	0	0	0 1				
芝隆司 (201650000309191854	E -	. L.A.	ップ_	シソー	ーフノ	(用記	晋×5	3 —	者看	省		0	0	0	0	0	0	0 1				
桐本哲郎 (200901100594247615							_															
小花貞夫 (200901100386709907	神保郁充	0	0	0	1	0	0	0	1	0		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
五十嵐貞夫 (201550000035464940	早貸舜	1	1	1	0	0	0	1	0	0		0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1
中村真帆 (201650000322949081	瀬楽瑞樹	1	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小河 昇平 (200901100351022682	酒井文則	1	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
小菅義夫 (200901100428844150 山下遼 (201550000193206002	横川貴洋	1	0	0	1	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
新田大輔(201550000193200002	小河昇平	1	0	1	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
渡辺一宏 (201650000301137672	稲葉敬之	1	0	1	0	0	1	1	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渡辺優人 (200901100300251059		-				_		-	_			_		_	_	-	_		_	_	_	_
秋田学 (201550000074360826	芝隆司	1	0	1	0	0	1	1	0		_	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
稲葉敬之 (200901100456742435	渡辺優人	0	1	1	1	1	1	0	0	_	_	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
·	齋藤淑	0	1	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	佐々木優太	1	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中村真帆	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	0	0	0	1	Ò	0	0	0	0	0
	角田智広	1	1	1	0	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新田大輔	. 1	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	山下遼	0	2	0	0	2	0	0	1	1		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	渡辺一宏	2	0	1	0	1	1	1	0	0		1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
3	12X= 1/A			-	_		-			_					•		•				-	<u> </u>
		Ä	Ä	制制	Hall the	2.40.194	THE STATE OF THE S	() ,	Ä	闭解能	※研究者は所属機関が変わることがありますので検索式を立てる際にご考慮ください。						5					
		V	N. Car	\$00° <			1	× ×	Vie	Ŋ,,	F	Δ.										
		1 C (5)						ので検索式を立てる際にご考慮ください。														

共著関係を見る



「電気通信大学」の「自動車・レーダ」に関する「直近5年」の文献18件

14

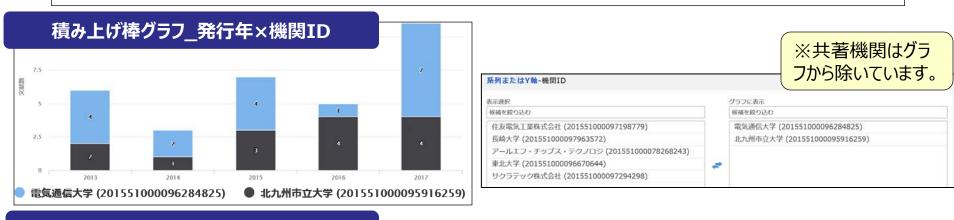
ヒートマップ。機関ID×機関ID

サクラテック株式会社 (201551000097294298)	1 0		集合が単独の機関である場合に有効です。						
東北大学 (201551000096670644)	1	0	1	1	1				
アールエフ・チップス・テクノロジ (201551000078268243)	1	0	1	1	1				
住友電気工業株式会社 (201551000097198779)	2	2	0	0	O				
電気通信大学 (201551000096284825)	18	2	1	1	1				
	電気通信大学 (2015	住友電気工業株式会	アールエフ・チップ	東北大学 (2015510	サクラテック株式会				

競合比較



「電気通信大学」「北九州市立大学」の「自動車・レーダ」に関する「直近5年」の文献



ヒートマップ 機関ID×シソーラス用語



※比較対象が共著の場合もあ りますので、ご留意ください。

主要な雑誌名



((RG/FA) AND (a1/DT OR a2/DT OR d2/DT)) * (レーダ/ALE * 自動車/ALE) * (2013-2017/PY) 862件

ヒートマップ_発行国×資料名

※特定テーマの資料や学会を調べるのに有用です。

IEEE Transactions on Microwave Theory and Technig... International Journal of Advanced Robotic Systems (... IEEE Transactions on Antennas and Propagation IEEE MTT-S Int Microw Symp Dig

IEEE Trans Antennas Propag

IEEE Transactions on Intelligent Transportation Syste...

Transportation Research Record

日本機械学会交通・物流部門大会護海論文集

Proceedings of SPIE

IEEE Transact Int Trans Intell Transp Syst

IEEE Trans Microw Theory Tech 自動車技術

IET Conference Publications

電子情報通信学会大会講演論文集(CD-ROM)

SAE Technical Paper Series (Society of Automotive En...

自動車技術会学術講演会前刷集

電子情報通信学会大会講演論文集(CD-ROM)

Sensors (Web)

電子情報通信学会技術研究報告

IEEE Conference Proceedings

研究報告 ceedings	0 344	54 0	0 0	O O	1-CHE	O O	O O O	0
rs (Web)	0	0	0	0	20	0	0	0
D-ROM)	0	17	0	0	0	0	0	0
会前刷集	0	14	0	0	0	0	0	0
ive En	13	0	0	0	0	0	0	0
D-ROM)	0	12	0	0	0	0	0	0
lications	0	0	12	0	0	0	0	0
動車技術	0	10	0	0	0	0	0	0
ory Tech	10	0	0	0	0	0	0	0
nsp Syst	10	0	0	0	0	0	0	0
演論文集 s of SPIE	9	0	0	0	0	0	0	0
n Record	7	7	0	0	0	0	0	0
Syste	7	0	0	0	0	0	0	0
Propag	7	0	0	0	0	0	0	0
ymp Dig	7	0	0	0	0	0	0	0
agation	6	0	0	0	0	0	0	0
tems (0	0	4	0	0	0	0	2
chniq	6	0	0	0	0	0	0	0

専用の分析ソフトを活用する場合のメリット



- 数万件の分析に対応(PCのスペックや分析ソフトによります)
- 辞書機能による機関名・著者名の名寄せにより、分析の精度を高める
- 文献にコメントや独自分類を付与することで利用者独自の分析が可能
- ネットワーク図やバブルチャートなど多様な可視化が可能
- 作成したマップをツール上に保存でき、再利用・加工が容易
- ツール上に表示したマップから直接該当する文献を確認できる

各種分析ソフトでJDreamⅢを分析できます。詳しくはサイトをご確認ください。

http://jdream3.com/service/analysis.html





株式会社プラスアルファ・ コンサルティング



株式会社NTTデータ 数理システム



VALUENEX株式会社



※上記以外のソフトでもデータを取り込める場合がございます。詳しくはソフト提供元にご確認ください。

請負分析サービス「即答JDreamⅢマップ」



分析結果を納品します。詳しくは以下のサイトをご覧ください。

http://jdream3.com/daikou/bunseki.html

即答! JDream II マップ

分析・可視化データサンプル

ダウンロードはこちら →



分析データのご紹介(納品物)

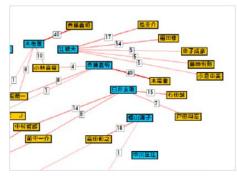
以下の納品データに加え、分析ソフトウェア 『ぱっとマイニングJP』 を1ヶ月無料で提供します! ご自身でお好みのマップの作成・編集が『ぱっとマイニングJP』を使い可能です!

納品データ1	グラフ、関連図などの「基本マップ17点」+「サービスマップ約5点」が入ったパワーポイントファイル
納品データ2	上位ランキング、著者グループ分析など計10点が入ったエクセルファイル
納品データ3	JDreamⅢ分析用元データ

○ 提供料金

分析・マップ 作成料	90,000円(税別)	
分析用データ	JDreamⅢ「検索プラン」をご契約のお客様 JDreamⅢ未契約のお客様	件数に応じて見積いたします。事前にご相 談ください。
料金	JDreamⅢ「ダウンロード・ユーザSDI・フ ルプラン」をご契約のお客様	データ料金は不要です。分析用のダウン ロードデータをご提供ください。

著者×著者



共著関係にスポットを当てることで中心 となるキーマンを分析

発行年×新規頻出ワード



特許公開前の基礎研究の最新動向を分析

参考:ヒートマップでよく使う軸



機関ID	経年変化	共著関係					色	つきが特に。	よく使う軸で	す。
著者ID	経年変化	著者の 所属機関	共著関係							
シソーラス用語	経年変化	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ						
準シソーラス用語	経年変化	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ					
JST分類	経年変化	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ					
化学物質名	経年変化	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ				
発行国	経年変化	国内・海外の 比較	国内・海外の 比較	国内・海外の 比較	国内・海外の 比較		国内・海外の 比較			
記事区分		文献の種類	文献の種類							
資料名		ジャーナル・ 学会	ジャーナル・ 学会	ジャーナル・ 学会	ジャーナル・ 学会		ジャーナル・ 学会			
第一著者	経年変化	第一著者の 所属機関	共著関係	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ	研究テーマ	国内・海外の 比較	文献の種類	ジャーナル・ 学会
	発行年	機関ID	著者ID	シソーラス用語	準シソーラス用語	JST分類	化学物質名	発行国	記事区分	資料名

X軸

Copyright 2018 G-Search Limited

参考:軸の説明



軸 名	概 要	ポイントと注意点
発行年	資料の発行年	-
機関ID	機関ごとにJSTが付与したID 同一の機関と判断されたものに同一IDを付与	一定数のデータ収録のある機関(一部の外国機関を含む)に付与。精度が高くグラフ化には有効。 ID付与はデータ収録から3~6カ月程度のタイムラグがあるため直近データには付与されていない。IDが付与されていない機関はランキングから漏れる。
著者ID	著者ごとにJSTが付与したID 同一の著者と判断されたものに同一IDを付与	一定数のデータ収録のある日本人研究者(一部の外国人研究者を含む)に付与。同一著者の同定は難しいため精度は80~90%程度だが、グラフ化には有効。 ID付与はデータ収録から3~6カ月程度のタイムラグがあるため直近データには付与されていない。同一著者に複数のIDが付与されている場合がある。IDが付与されていない著者はランキングから漏れる。
シソーラス用語	文献のテーマを表す科学技術用語 『JST科学技術シソーラス』に登録された用語のみを使用 索引済みの文献に最低1個が付与されている	文献の主題を表す統制されたキーワードであるため傾向が見えやすいく、グラフ化には非常に有効。 ランキングの上位には各文献に共通るすシソーラス用語が並ぶため、件数が多い場合は、ある程度上位を除くと、さらに特徴が見えやすくなる。
準シソーラス用語	文献のテーマを表す用語だが『JST科学技術シソーラス』には登録されていない用語	統制されていないが一般的に使用される用語や特徴的な技術用語であるため、特に著者や機関ごとの特徴が出やすい。新しい技術用語が含まれている。
JST分類	文献の研究分野を表す8桁のコード 索引済みの文献に最低1個が付与されている	キーワードより広い概念を表し、大まかな科学技術分野の絞り込みに向く。グラフにはコードしか表示しないため、コードの説明が記載されたJST分類表を確認する必要がある。
化学物質名	文献のテーマを表す有機低分子化合物	化学物質名が記載されている文献で有効
発行国	資料の発行国	2016年8月以降、海外誌の収録が急激に増えていることに注意が必要。
記事区分	文献の種類とそのコード	「原著論文」「短編」「文献レビュー」「会議録記事」「解説」「紹介的記事」の6種類
資料名	文献が収録されている資料名。欧文資料名は2017年以前は省 略表記で、2017年以降は完全表記収録。	注目すべきジャーナルや学会を調べるのに有効。海外誌は資料名が2017年を境に省略・完全の2表記があるため、同一資料としてまとまらない。
著者名	文献の著者名	著者IDによる名寄せはないため、同一人物であっても日本語・英語の表記はまとまらないが、IDが付与されていない著者も対象になる。
第一著者	文献の第一著者名	第一著者は研究の中心となった人であるため、共同研究者や若手研究者を探す場合に有効。著者IDによる名寄せはないため、同一人物であっても日本語・英語の表記はまとまらないが、IDが付与されていない著者も対象になる。